

【2021/11/20 日本キャンプ協会WS】

オンラインや360度カメラを 使用したstayhomeでの自 然体験の検討

アクトインディ株式会社
石川大晃



本ワークショップを聞いて下さる皆様へ

自分自身が試行錯誤したエピソードの共有や、今後の展望等、自然体験のオンライン化の可能性をお話させていただきます。

あくまで自分のコミュニティの中でのオンライン自然体験の話となりますので、聴いている皆様も是非自分たちの現場等に照らし合わせながら、頭を巡らせて、ご参加頂ければ嬉しいです！ 自分と違う分岐点や選択肢をお持ちだと思いますので。

「こんなアイデアひらめいちゃった！」や「ご質問」等ありましたら、どしどしコメントを頂ければ幸いです。是非、皆様からもいろいろ学ばせて下さい。

それでは、よろしく申し上げます！！



本ワークショップについて

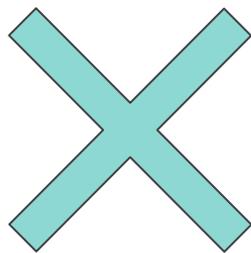
- ①自己紹介、オンライン自然体験をはじめた経緯
- ②当初のオンライン自然体験と試行錯誤エピソードと実績
- ③社会の状況が変わってきた！オンライン自然体験どうしようか？
- ④360度動画での自然体験づくりへの挑戦。
- ⑤今後、どのような展開を考えているのか。
- ⑥まとめ



本ワークショップについて

- ①自己紹介、オンライン自然体験をはじめた経緯
- ②当初のオンライン自然体験と試行錯誤エピソードと実績
- ③社会の状況が変わってきた！オンライン自然体験どうしようか？
- ④360度動画での自然体験づくりへの挑戦。
- ⑤今後、どのような展開を考えているのか。
- ⑥まとめ

四季冒険部では「何」をしているのか？



四季冒険部





四季冒険部詳細

目的：自然体験を通して子どもの可能性を広げる。

事業モデル：

主に都市部に住む子供たち



いこーよを使って募集



四季折々の体験を実施する



四季冒険部詳細

目的：自然体験を通して子どもの可能性を広げる。

事業モデル：

主に都市部に住む子供たち



いこーよを使っ

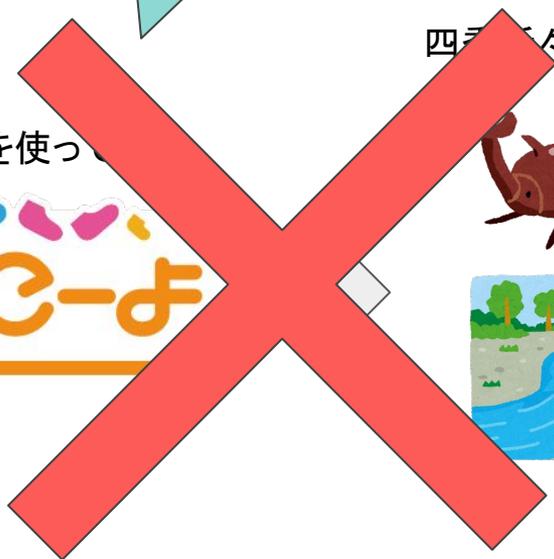


四季それぞれの体験を実施する

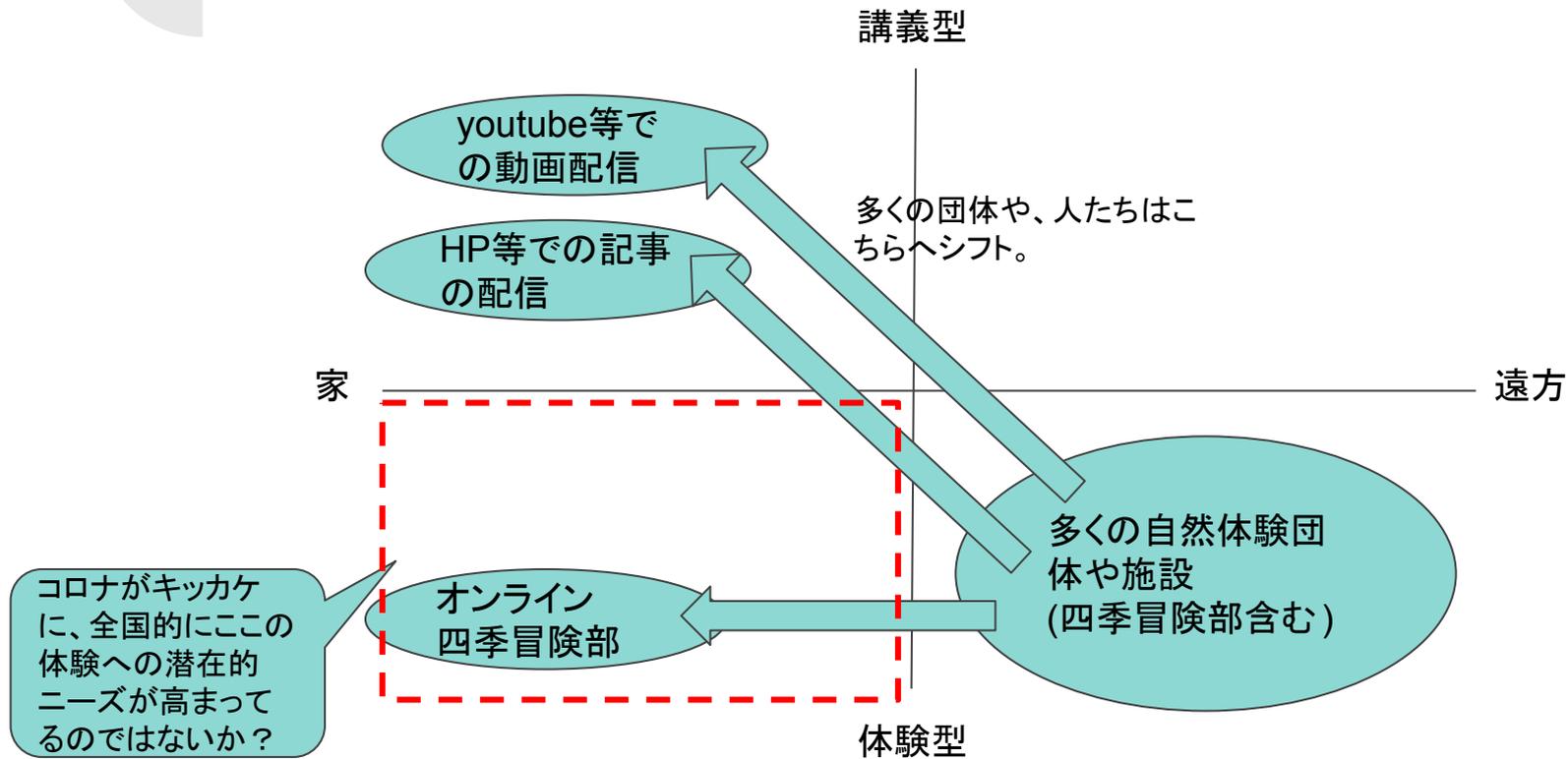


子どもたちの体験を止めない
為になにかできないか？

オンライン自然体験
づくりへ



第一回の緊急事態宣言直後の状態

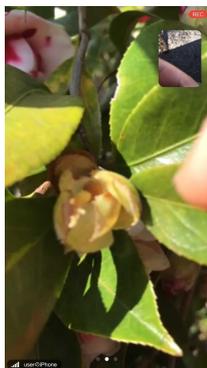




本ワークショップについて

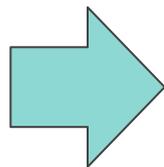
- ①自己紹介、オンライン自然体験をはじめた経緯
- ②**当初のオンライン自然体験と試行錯誤エピソードと実績**
- ③社会の状況が変わってきた！オンライン自然体験どうしようか？
- ④360度動画での自然体験づくりへの挑戦。
- ⑤今後、どのような展開を考えているのか。
- ⑥まとめ

【緊急事態宣言直後の私】 Zoomで自然体験、意外といけるんじゃないか説



お家やその近所でできる自然体験ができないか試行錯誤開始。

近所に住んでいる樹木医さんと一緒に、オンライン体験をつくりはじめる。その後、近所に住んでる農家さんとも一緒に準備をしだす。



そして、4月に2つの体験をつくりました。

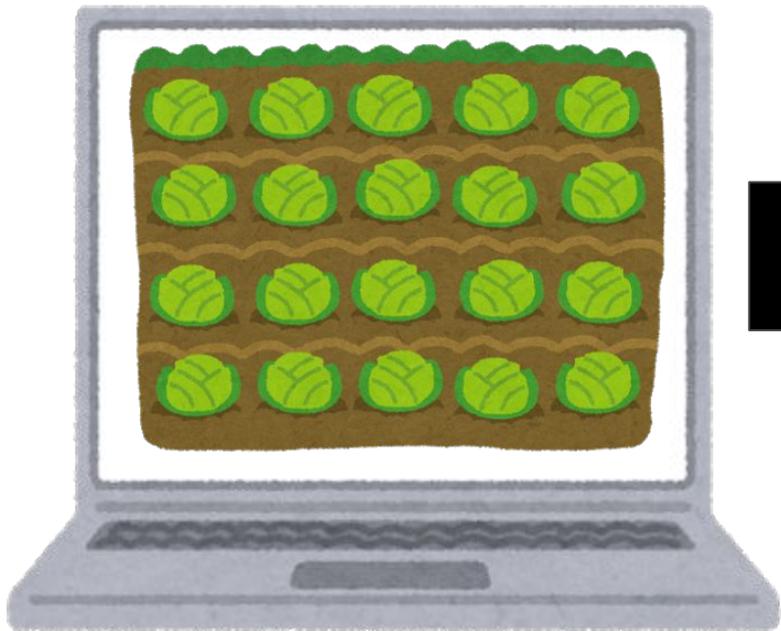
【ひとつめ】農家さんとオンライン農業体験



目的: お家と畑をつないで農家さんから季節の野菜を学ぶ機会をつくる。

体験の流れ

①問題の畑が映されます。

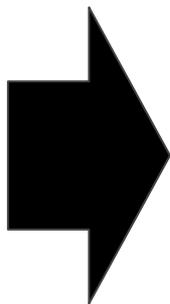


②ヒントが欲しい方は、ご質問下さい。



体験の流れ

③司会者の「せいの」で一斉に答えを見せて下さい。



④答え合わせ後、収穫できる野菜は、収穫していきます。





試行錯誤のエピソード

①安全管理面

- ・農家さんの車道での歩きスマホ

②機器のエピソード

- ・【夏限定】熱中症になる携帯
 - ↳変な音が入ったり、カクカクしたり。
- ・【特に夕方注意】忍び寄る逆光
 - ↳逆光になると画面の向こう側の人は何も見えない。

③撮影について

- ・室内環境にいる司会者の必要性
 - ↳現場(畑)にいる農家さんは、室内環境でどのように見えているか把握できていない。
 - ↳農家さんは現場のお仕事で忙しいため、参加者全体の顔や雰囲気把握しきれていない。
- ・農家さんが一人で現場運営できる環境づくり
 - ↳三脚を使用し、時には定点撮影、時には自撮り棒のように扱い、撮影をスムーズにできるようにする。

④どんな農家さんと組むのか

- ↳新しい取り組みに対して「面白そう！」と言ってくれ、農家としてある程度安定して収益をあげられており、かつデジタル機器を使うことに抵抗がない。子供の体験に意義を感じてくれる農家さん。
- ↳はじめの農家さんでは上手いかず。

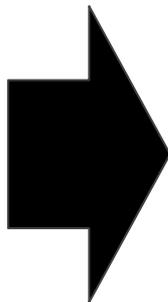
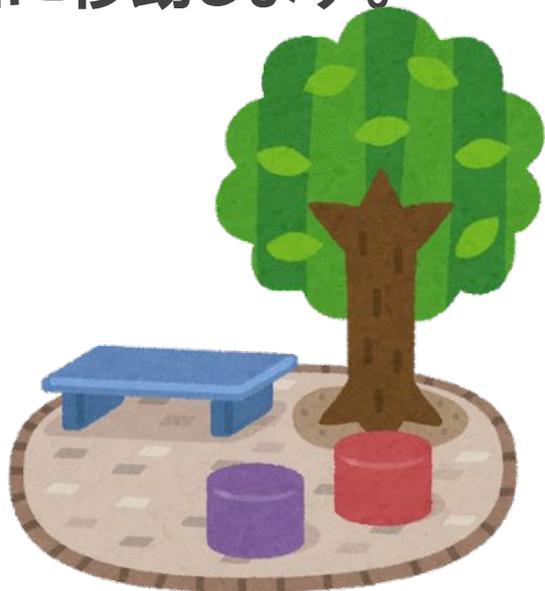
【ふたつめ】樹木医さんとおもしろ植物体験



目的:身近な自然(公園)を楽しむきっかけをつくる。

体験の流れ

①各自、家の近くにある近所の公園に移動します。



②ビンゴを使いながらお題に当てはまるものがあったら樹木医さんに画面越しに見せ、「認定」をもらえればクリアです。

おも植ビンゴ

いこーよ四季冒険部

 ふわふわ	? おもしろくてざわり	 つるつる
 もじ・すうじ	? おもしろいかたち	 かお
 いいにおい	? おもしろいにおい	 くさいにおい



試行錯誤のエピソード

①安全管理面

- ・参加者が画面の向こうで自由に動く中での安全管理
↳何かあった時に、法的には「結果予見」と「結果回避」のそれぞれの義務が問われる可能性があるページで詳しく
- ・参加者の歩きスマホ
↳スマホカメラの固定、もしくは撮影必要時のみ撮影してもらうようお願い。

②機器のエピソード

- ・参加者のスマホのカメラ性能や回線速度のによる鮮明感の難しさや、電波による接続の影響
↳何度も写しなおして頂いたり、写真を共有して頂いたり。
- ・画面越しからしか植物の情報しか得られない
↳5感のビンゴなので見ただけで、その特性や五感で楽しむ方法を伝えられる専門家でないとプログラムが実施できない。
- ・同時に参加する画面数(お画面(3組)まで
↳見つけた今の発見を吸い上げるのが大事、4組以上だと「認定」待ちの行列ができて体験の質が下がる。

③撮影について(先程とおなじ)

オンライン体験で参加者が自由に動く場合の安全管理について(法的な対策)

メモ欄

おも植ビンゴ

いこーと四季冒険部

	ふわふわ	?	おもしろいでざわり		つるつる
	もじ・すうじ	?	おもしろいかなら		かお
	いいにおい	?	おもしろいにおい		くさいにおい

①取り組 ※おもしろ植物をみつけたら、「触らず」まずは、樹木源に見せる！！

【ご家族の方へ】安全管理へのご協力をお願いします ※当日もご持参下さい。

(1)参加当日は、お子様の人数+1名の大人の方のご参加をお願い致します。
お子様と大人は1対1で頂き、お子様につかない大人は一步下がって全体の安全管理に努めて、前々と変わる状況の中で怪我や事故に巻き込まれないように対応して下さい。

(2)会場の下見と活動中の安全管理の視点について
下見も活動中も同行する大人は下記のもの種目で会場の安全管理して下さい。危険を見つけた場合は、怪我や事故に危が恐れがあります。下見で発見した場合は、活動中にはその危険に近づかない。活動中に発見した場合は、速ちにその危険を排除(移動等)して下さい。

危険メモ欄

- ①不審者との接触による危険
- ②交通事故(自転車、車との接触の危険)
- ③崖や段差等の地形の変化による危険
- ④上部からの落下物(袋等)による危険
- ⑤ハチ、蛇等生き物における危険
- ⑥池、川等水辺での危険
- ⑦ガラス等、人工物による危険
- ⑧木盛り等ビンゴ中に、ビンゴでない遊びをする中で起こる危険
- ⑨樹木源さんに見せて、「OK」が出た植物以外は触らない

※等触るだけで驚かれる物もあります。おも植発見の際は、まずは樹木源へお知らせ下さい。

(4)スマートフォンは移動中は見ない。見つけたら、その場で立ち止まり写して下さい。

(5)緊急時の対応について

- ①雷や、急な天候不良の場合:無理せずご自宅へお戻り下さい。
- ②地震発生:落下物がない場所まで移動。そのまま待機。継続が困難な場合は中止。
- ③火災の場合:ご自宅へ避難。※ご自宅も危険な場合は火元からできるだけ速く避難。
- ④次性後(活動続行が不可)が発生した場合:119番通報を行い、救急車を呼んで下さい。

(6)緊急時のアプリの接続メモ欄 ※メールでお知らせしている情報をご記入下さい。

ID:
Password:

メモ欄

スタッフ側の緊急時マニュアル

【緊急性が高い何らかのトラブルが起こった場合】
現場での対応が終了次第、石川にも連絡。
個人携帯:090-4385-8412(石川)

※「緊急性が高い」とは？※
参加者の命に関わり、その場ですぐの判断・行動が求められる場合。

※石川に連絡するタイミング※
緊急性が高い場合は、現場での対応が終了後速やかに石川へ連絡。詳細頁を貼っただけ等小さな怪我で活動続行に支障がない場合は、活動終了後に報告。

(1)怪我人発生時

- ①安全確認・安全確保の指示
- ②怪我の程度の確認
- ③【命に関わりがある・骨折など活動の続行が不可能の場合】他の参加者に事情を説明し中止。⇒当該者が取り乱している場合は変わりに119番⇒救急隊到着まで継続したまま付き添う。⇒引き継ぎが終われば次石川へ連絡&アクシデントシートにて報告
- ④【活動の続行に支障がない小さな怪我の場合】参加者から状況をヒアリング⇒活動終了後にアクシデントシートにて報告

(2)地震発生時

- ①公園の広場(上から落ちてくるものがない場所)へ避難を促す
- ②【大震災等活動続行が不可能な場合】解散を宣言し中止、お家へ帰ってもらう⇒石川に報告
- ③【活動続行が可能な場合】活動を再開

(3)火事発生時

- ①火元から避難
- ②ご自宅へ避難の指示。※ご自宅も危険な場合は火元からできるだけ速く避難。⇒活動終了後石川に報告&アクシデントシートにて報告

(4)豪雨・急な天候不良の発生時

- 中止し、ご自宅へお戻り頂く。

(5)不審者発生時

- ①場所を移動して続行を指示
- ②解決しない場合は、活動を中止しご自宅への避難を指示
- (6)その他の場合

- ①緊急性の判断をする
- ②【緊急性が高い場合】活動を中止しご自宅へ避難
- ③【緊急性が低い場合】場所を移動してもらい続行

アクシデントシート
URL: <http://url.work/USFG>
QRコード: 右記コードを読み取る



オンライン体験で参加者が自由に動く場合 の安全管理について(法的な対策):参加者側

【ご家族の方へ】安全管理へのご協力をお願い※当日もご持参下さい。

- (1)参加当日は、お子様の人数+1名の大人の数でのご参加をお願い致します。
お子様と大人は1対1について頂き、お子様につかない大人は一步下がって全体の安全管理に努めて、刻々と変わる状況の中で怪我や事故に巻き込まれないように対処して下さい。
- (2)会場の下見と活動中の安全管理の視点について
下見も活動中も関わる大人は下記の8つの視点で会場の安全管理をして下さい。危険を見つけた場合は、怪我や事故に繋がる恐れがあります。下見で発見した場合は、活動中にはその危険に近づかない。活動中に発見した場合は、直ちにその危険を排除(移動等)して下さい。

- ①不審者との接触による危険
- ②交通事故(自転車、車)との接触の危険
- ③崖や段差等の地形の変化による危険
- ④上部からの落下物(枝等)による危険
- ⑤ハチ、蛇等生き物における危険
- ⑥池、川等水辺での危険
- ⑦ガラス等、人工物による危険

危険メモ欄

- ⑧木登り等ビンゴ中に、ビンゴでない違う遊びをする中で起こる危険
- (3)樹木医さんに見せて、「OK」が出た植物以外は触らない
漆等触るだけで被れる物もあります。おも植発見の際は、まずは樹木医へお知らせ下さい。
- (4)スマートフォンは移動中は見えない。見つけたら、その場で立ち止まり写して下さい。
- (5)緊急時の対処について
- ①雷や、急な天候不良の場合:無理せずご自宅へお戻り下さい。
 - ②地震場合:落下物がない場所まで移動、そのまま待機。継続が困難な場合は中止。
 - ③火災の場合:ご自宅へ避難。※ご自宅も危険な場合は火元からできるだけ遠くへ避難。
 - ④大怪我(活動続行が不可)が発生した場合:119番通報を行い、救急車を呼んで下さい。

(6)緊急時のアプリの接続メモ欄 ※メールでお知らせしている情報をご記入下さい。

ID:

Password:

オンライン体験で参加者が自由に動く場合 の安全管理について(法的な対策):スタッフ側

メモ欄

スタッフ側の緊急時マニュアル

【緊急性が高い何かしらのトラブルが起こった場合】

現場での対応が終了次第、石川にも連絡。

個人携帯:090-4385-8412(石川)

※「緊急性が高い」とは?※

参加者の命に関わり、その場ですぐの判断・行動が求められる場合。

※石川に連絡するタイミング※

緊急性が高い場合は、現場での対応が終了後速やかに石川へ連絡。絆創膏を貼った
だけ等小さな怪我で活動続行に支障がない場合は、活動終了後に報告。

(1)怪我人発生時

①安全確認・安全確保の指示

②怪我の程度の確認

③【命に関わりがある・骨折など活動の続行が不可能の場合】他の参加者に事情を説明し
中止⇒当該者が取り乱している場合は変わりに119番⇒救急隊到着まで接続したまま付
き添う。⇒引き継ぎが終わり次第石川へ連絡&アクシデントシートにて報告

③【活動の続行に支障がない小さな怪我の場合】参加者から状況をヒアリング⇒活動終了
後にアクシデントシートにて報告

(2)地震発生時

①公園の広場(上から落ちてくるものがない場所)へ避難を促す

②【大震災等活動続行が不可能な場合】解散を宣言し中止、お家へ帰ってもらう⇒石川に
報告

②【活動続行が可能な場合】活動を再開

(3)火事発生時

①火元から避難

②ご自宅へ避難の指示。※ご自宅も危険な場合は火元からできるだけ遠くへ避難。⇒活動終了
後石川に報告&アクシデントシートにて報告

(4)雷・急な天候不良の発生時

中止し、ご自宅へお戻り頂く。

(5)不審物発生時

①場所を移動して続行を指示

②解決しない場合は、活動を中止しご自宅への避難を指示

(6)その他の場合

①緊急性の判断をする

②【緊急性が高い場合】活動を中止しご自宅へ避難

③【緊急性が低い場合】場所を移動してもらい続行

アクシデントシート

URL: <http://ur0.work/U5FG>

QRコード: 右記コードを読み取る





とりあえず4月下旬から有料体験として個人の親子をターゲットに募集&実施

【申し込み結果】

オンライン農業体験:1日10組募集で、申込み2組

オンライン植物体験:1日 1回3組×3回募集で、申込み1組。

【所感】

- ・オンライン自然体験について、いまいちイメージできない方が多いのではないかと(実際参加したの人による分析)。
- ・個人をターゲットにすると、1人あたりの参加費の単価はそれほど高くない(高くできない)ので、実施は難しい。そもそも有料はなかなか参加してくれない。
- ・プログラムをつくっている時は勝手に自分が盛り上がりすぎて気づけなかったけど、おもしろ植物体験1回当たり3家族はそもそも事業化するのは難しい。1日3回転は樹木さんが死んでしまう。
➡参加者動く型の終焉。お蔵入り。
- ・オンライン農業体験と、大人数にも対応できる別のオンライン植物体験を樹木医さんとつくり、事業のターゲットを幼稚園や学童保育、企業に変更。



保育園や対企業や組織と実施を踏まえて

- ・想像以上に保育現場はオンライン化が進んでいなかった。
➡保育や学童の現場では予想以上に広がっていかない。
- ・ブロッコリー栽培は、参加者各家庭の生育環境(太陽が当たりやすいかどうか等)の影響をかなり受ける。
➡収穫体験を同じタイミングでの実施は不可能。
- ・晴れている場合は通常の体験。雨の場合はオンライン体験を実施できる形での運用が可能。
➡事前に、各ご家庭に当日体験するモノを郵送しておけば雨の際も体験志向のオンライン体験を実施できる。
- ・2020年秋以降から、体験志向の人達や団体は積極的に動きはじめる肌感に変わる。アフターコロナを見据えたオンライン自然体験の施策を実施する必要性が出てくる。
➡本当の意味でのオンライン自然体験の意義を考え動く事の大切さ。



本ワークショップについて

- ①自己紹介、オンライン自然体験をはじめた経緯
- ②当初のオンライン自然体験と試行錯誤エピソードと実績
- ③**社会の状況が変わってきた！オンライン自然体験どうしようか？**
- ④360度動画での自然体験づくりへの挑戦。
- ⑤今後、どのような展開を考えているのか。
- ⑥まとめ

オンライン自然体験そのもので提供できるものは？

こちらで意図的に仕掛けなければ、「画面からの受身的な映像情報」のみでの体験



①「より参加者が能動的に取得できる映像情報や五感を使う体験をを意図的にいれる。」

➡360度動画の運用、体験キットの送付

②「現地集合型の体験の補助 (事前学習)として実施」

➡海外に住む日本人向け、国内にいる障がい児向け

③「お家での自然体験を豊かにするフックにするにする」

➡ライブコマース的な形でのオンライン農業体験 (クイズ)の実施



本ワークショップについて

- ①自己紹介、オンライン自然体験をはじめた経緯
- ②当初のオンライン自然体験と試行錯誤エピソードと実績
- ③社会の状況が変わってきた！オンライン自然体験どうしようか？
- ④360度動画での自然体験づくりへの挑戦。
- ⑤今後、どのような展開を考えているのか。
- ⑥まとめ

はじめは、VRでオンライン自然体験できないかなあと妄想する。



- ・リアルタイムでのVR配信はかなり厳しい。
 - ↳VR配信できるプラットフォームで誰もが入れそうな媒体はYoutubeのみ。Zoomは対応していない。
 - ↳かなりのデータ量になるので、より回線での影響を受けやすい。
 - ↳VRゴーグルは値段が高い(そのために買うか?)。
- ・360度動画であれば配信しやすい。
 - ↳facebook等のSNSでも対応している。但しアカウントを持っているかどうかで使える機能などがかなり影響を受ける。
 - ↳Zoomを使いながら別ページで生配信を行うと生配信で映像と音声にタイムラグが発生してカオスになる。
 - ↳360度動画をしようするのであれば、録画データで運用するのが一番無難。



360度動画での自然体験づくりへの挑戦

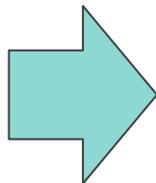
【360度カメラ購入時の注意点】

- ・LIVE配信に対応しているのか録画のみ対応しているのか、それとも両方対応しているのか。
- ・動画最長記録時間に注意。
 - ↳ やすいものだと3分のものも。
- ・1データ当たりのデータ量が多い。
 - ↳ 15Gと書いてあってもすぐにいっぱいになる。
 - ↳ 用途にもよるが内蔵タイプではなく、メモリー差し込みタイプがオススメ。
- ・動画の画質に注意。
 - ↳ 自然体験はその場所のありのままをできるだけ伝えたいと思うので良いものが良いかと。



作成してみたの感想

- ・暗いところだと影が出てきて撮影しても写したいものが暗く映る。
- ・360度の写真よりも音が入る方が臨場感が出る。
- ・見る角度も含めて自分で決められるので、探すという行為がより参加者主体になる。



360度動画でどのようなアクティビティができそうかアイデアありましたら、是非コメントいただけると嬉しいです！！



本ワークショップについて

- ①自己紹介、オンライン自然体験をはじめた経緯
- ②当初のオンライン自然体験と試行錯誤エピソードと実績
- ③社会の状況が変わってきた！オンライン自然体験どうしようか？
- ④360度動画での自然体験づくりへの挑戦。
- ⑤今後、どのような展開を考えているのか。
- ⑥まとめ

オンライン自然体験そのもので提供できるものは？

こちらで意図的に仕掛けなければ、「画面からの受身的な映像情報」のみでの体験



①「より参加者が能動的に取得できる映像情報や五感を使う体験をを意図的にいれる。」

→360度動画の運用、体験キットの送付

②「現地集合型の体験の補助 (事前学習)として実施」

→海外に住む日本人向け、国内にいる障がい児向け

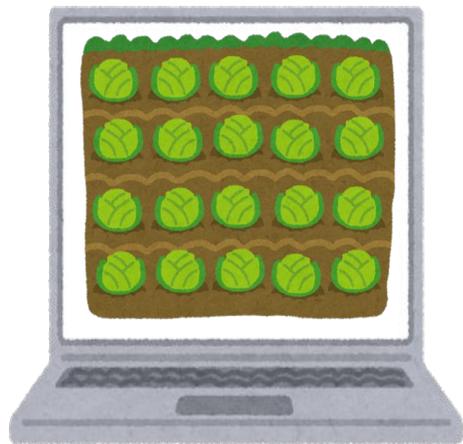
③「お家での自然体験を豊かにするフックにするにする」

→ライブコマース的な形でのオンライン農業体験 (クイズ)の実施

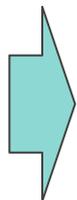


「海外に住む日本人向け」や「国内にいる障がい児向け」への展開

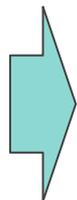
ふたつのターゲット共に共通しているのは、日本に住んでいる健常児よりも、1回の体験がとても貴重な1回になるということ



事前のオンライン体験



体験当日



事後のオンライン体験

オンライン体験を前後に挟む事で、1回のリアル体験の価値や密度を高める。

オンライン自然体験そのもので提供できるものは？

こちらで意図的に仕掛けなければ、「画面からの受身的な映像情報」のみでの体験



①「より参加者が能動的に取得できる映像情報や五感を使う体験をを意図的にいれる。」

→360度動画の運用、体験キットの送付

②「現地集合型の体験の補助 (事前学習)として実施」

→海外に住む日本人向け、国内にいる障がい児向け

③「お家での自然体験を豊かにするフックにするにする」

→Eコマース的な形でのオンライン農業体験 (クイズ)の実施

ライブコマース的な形でのオンライン農業体験(クイズ)の実施

【ライブコマースとは？】

ライブコマースとはECサイト(オンライン販売)とライブ配信を組み合わせた販売形態のことで、消費者が質問しながら買い物できるようになります。

※【2021年】更に加速するライブコマースとは？市場動向や事例、アプリを徹底解説 より

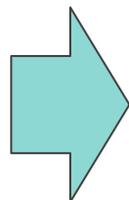
<https://www.makeshop.jp/main/know-how/knowledge/live-commerce.html>



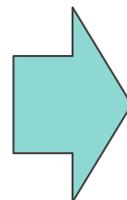
体験イメージ



【無料】オンライン農業体験
クイズ&収穫中継



**【有料】オンライン農業体験で
扱った野菜等がお家に届く**



**お家で自然体験を
楽しむ**

子どもが欲しいと思うフックをクイズで作り、
その後の販売、家庭での自然体験につなげる。



本ワークショップについて

- ①自己紹介、オンライン自然体験をはじめた経緯
- ②当初のオンライン自然体験と試行錯誤エピソードと実績
- ③社会の状況が変わってきた！オンライン自然体験どうしようか？
- ④360度動画での自然体験づくりへの挑戦。
- ⑤今後、どのような展開を考えているのか。
- ⑥まとめ



まとめ

- ・社会情勢に合わせて、何故やるのかを問い続ける中で出てくる事業設計のアップデートが大切。
- ・参加者や指導者の居住地域を気にする事なく実施できる。
- ・Zoom等のビデオ通話アプリのみでの運用だと提供できる情報量(体験量)が少ない。キットを送ったり、360度動画を運用する事で情報量(体験量)を増やしていく事が大切。